

株式会社クラレ 第143回定時株主総会

議決権数の報告

株式会社クラレ 第143回定時株主総会

池森 洋二
執行役員



渡邊 知行
常務執行役員



藤波 智
常務執行役員



尾松 俊宏
常務執行役員



大村 章
常務執行役員



マティアス
グトヴァイラー
取締役・常務執行役員



早瀬 博章
取締役・執行役員



高井 信彦
取締役・常務執行役員



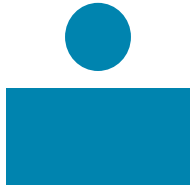
多賀 敬治
代表取締役・
専務執行役員



川原 仁
代表取締役社長



議長



井戸 清人
取締役（社外取締役）



上原 直哉
常勤監査役



佐野 義正
取締役・専務執行役員



永濱 光弘
監査役（社外取締役）



浜野 潤
取締役（社外取締役）



谷津 朋美
監査役（社外取締役）



村田 啓子
取締役（社外取締役）



田中 聡
取締役（社外取締役）



小松 健次
監査役（社外取締役）



中山 和大
常勤監査役



第143回 定時株主総会

報告事項の報告
決議事項の説明
質 疑 応 答
決議事項の採決

報告事項

事業報告
連結計算書類
計算書類

クラレグループが 対処すべき課題

招集ご通知（ウェブサイトに掲載）29～30ページ

長期ビジョン『Kuraray Vision 2026』

「私たちの使命」

私たちは、独創性の高い技術で
産業の新領域を開拓し、
自然環境と生活環境の向上に寄与します。
- 世のため人のため、他人のやれないことをやる -

「私たちの信条」

理念

個人の尊重
同心協力
価値の創造

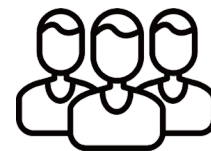
行動原則

安全はすべての礎
顧客のニーズが基本
現場での発想が基本

Kuraray Vision 2026

独自の技術に新たな要素を取り込み、
顧客、社会、地球に貢献し、
持続的に成長する
スペシャリティ化学企業

顧客



社会



地球



に貢献

中期経営計画「PASSION 2026」の3つの挑戦

中期経営計画「PASSION 2026」期間中に取り組む3つの挑戦を設定

私たちの 挑戦



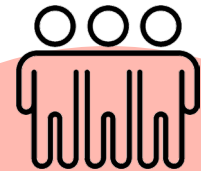
機会としての サステナビリティ

サステナビリティを
機会としてとらえ、
グループ一丸となって
推進する



ネットワーキングから 始めるイノベーション

社外・社内を問わず、
人と人、技術と技術を
つなげることで、新たな
成長のドライバーを生み出す



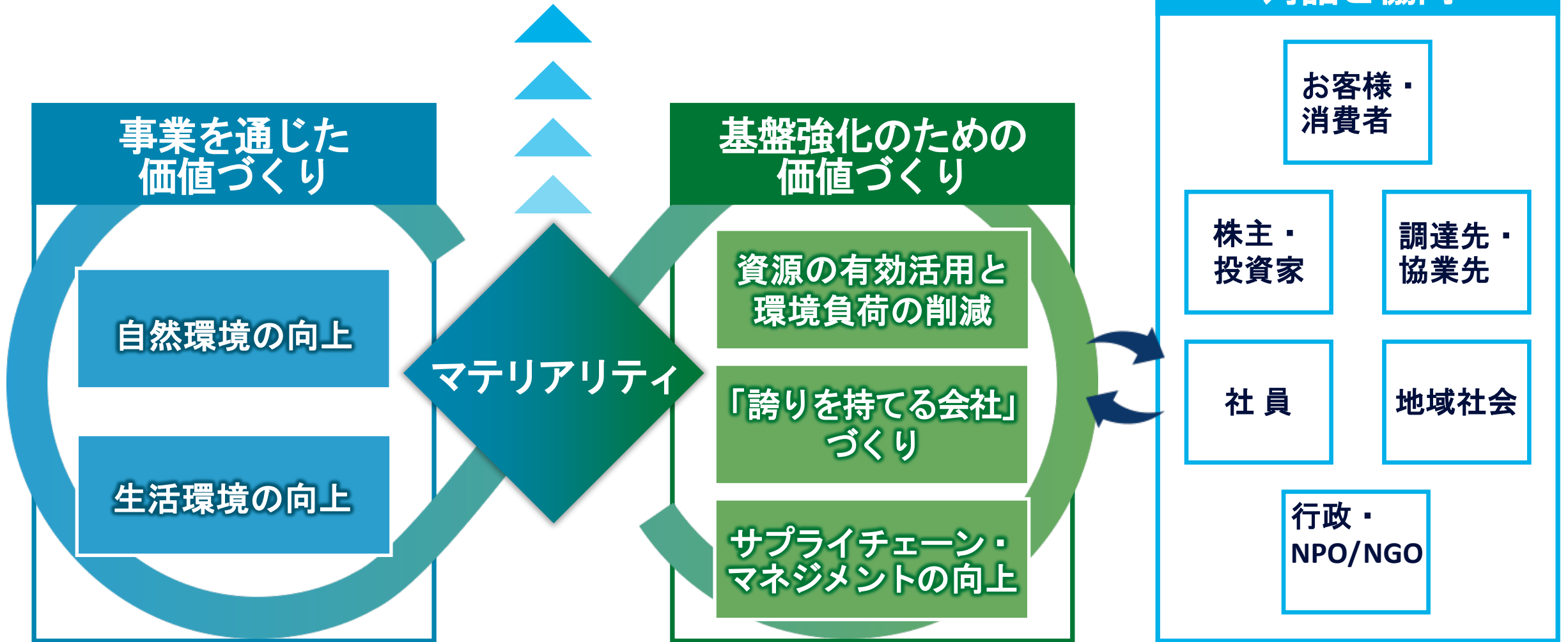
人と組織の トランスフォーメーション

デジタルでプロセスを変え、
多様性で発想の幅を広げ、
人と組織に変革をもたらす

PASSION 2026

クラレグループのマテリアリティ

長期成長と価値の創造



サステナビリティ中期計画

GHG排出削減

省エネ・水資源・廃棄物・
化学物質

気候変動への取組み (TCFD)

自然環境・生活環境貢献製品

サーキュラーエコノミー

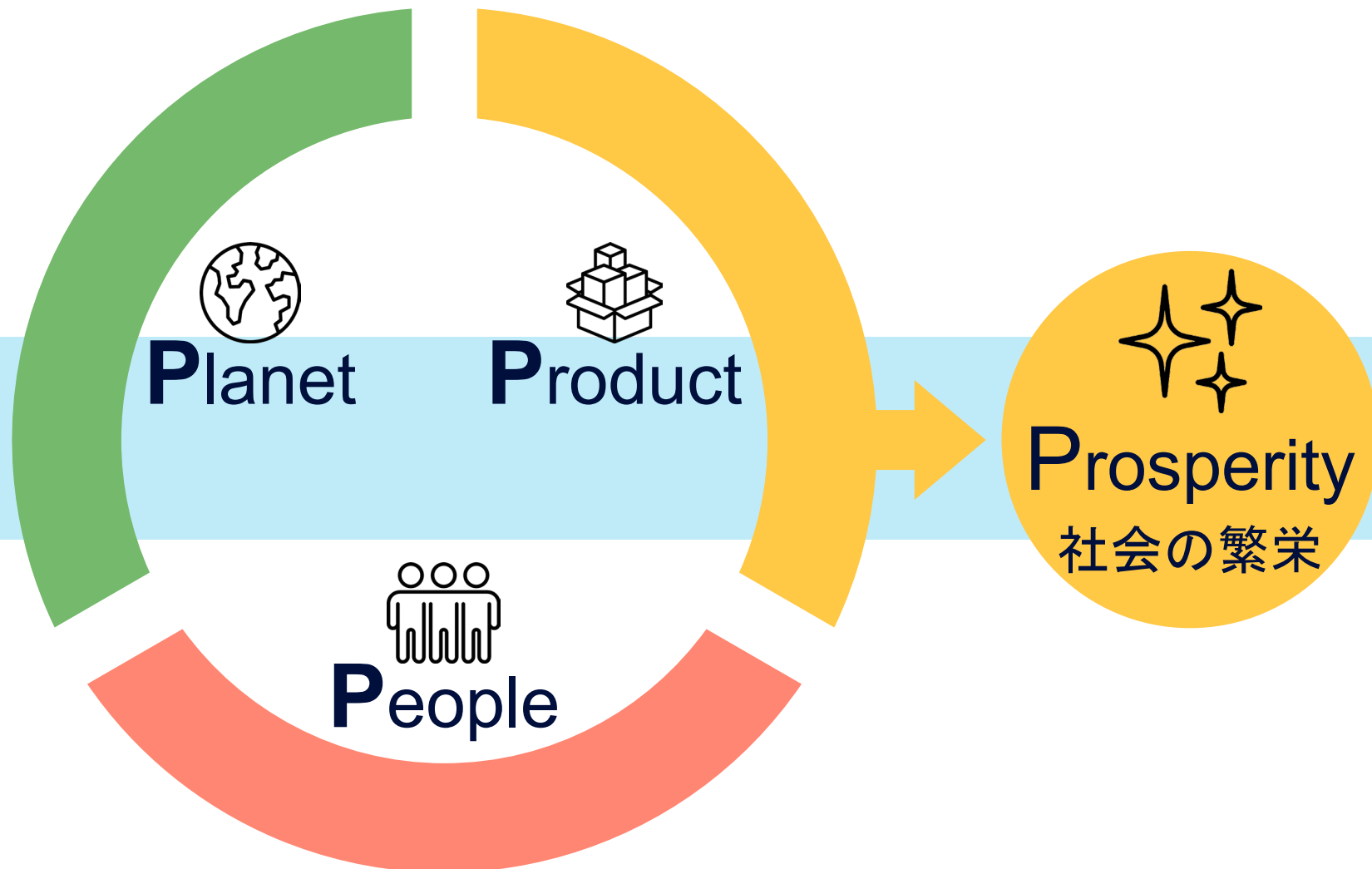
サステナビリティ調達

労働安全・保安防災

ダイバーシティ・インクルージョン

人材育成

社会貢献活動



「PSA^{※1}」による自然環境・生活環境貢献製品の特特定・拡大

※1 ポートフォリオ・サステナビリティ・アセスメント。
クラレが導入した客観性と透明性を有する評価システム

自然環境の向上

アスベスト代替

- ビニロン

バイオ・リサイクル原料

- バイオマス由来の液状ゴム



- 〈エコトーク〉^{※2} 製品

- 人工皮革 〈クラリーノ〉
リサイクル原料使用銘柄

水・大気の浄化

- 活性炭



物流の負荷低減/ フードロス削減

- EVOH樹脂
〈エバール〉



- バイオ由来
ガスバリア材
〈PLANTIC〉

生活環境の向上

歯科医と患者の負担軽減

- 歯科材料



通信の高速化

- 液晶ポリマーフィルム
〈ベクスター〉

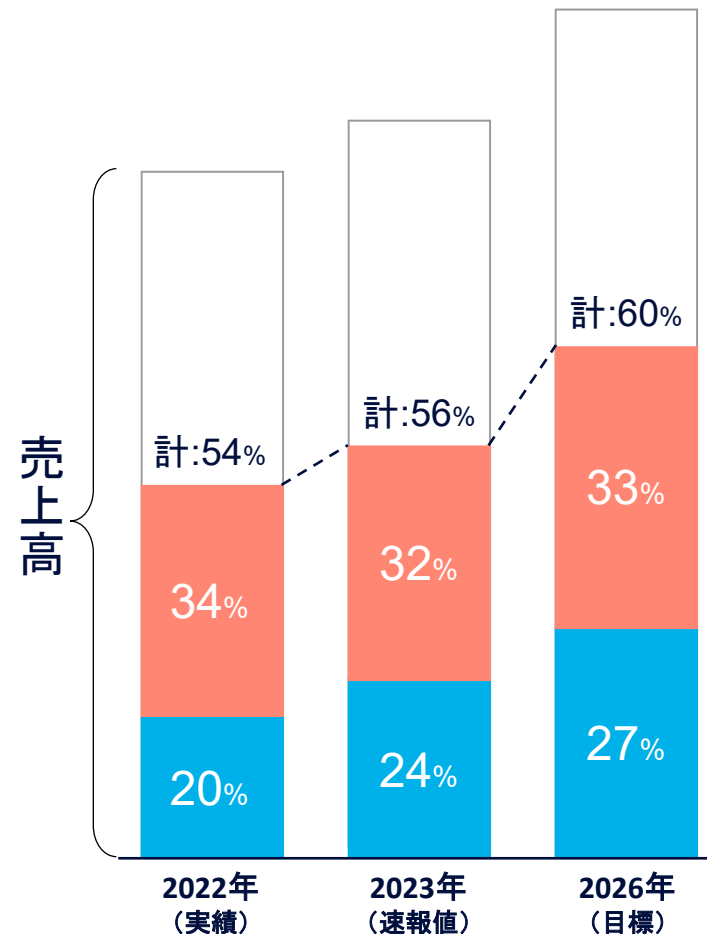
EVの軽量化

- 耐熱性ポリアミド樹脂
〈ジェネスタ〉



売上高／目標指標

- 自然環境貢献製品売上高比率
- 生活環境貢献製品売上高比率



※2 ポリエステル長繊維 〈クラベラ〉を中心とした商品の中で、地球環境の負荷の低減」または「持続可能な低炭素社会の実現」に役立つものにつけられる、クラレトレーディング株式会社のブランド名

TCFD※の枠組みに基づく開示の充実



ガバナンス

- 社長を委員長とするサステナビリティ委員会がサステナビリティ活動を推進



戦略

- クラレグループの気候変動によるリスクと機会を選定
- シナリオ分析を実施、気候変動によるリスクと機会のインパクトを評価



リスク管理

- 「緩和」と「適応」の両側面についてリスク管理を実施



指標と目標

- 2030年にGHG排出量（Scope1と2）を2019年度比30%削減、2050年にカーボンネットゼロ

※気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）

2024年の経営環境

世界経済

各地における地政学リスク、
中国の景気低迷など不透明な状況が続く

インフレ圧力の緩和により金融政策の見直しが図られる
ことで、年後半には緩やかに回復に向かうことが期待される

2024年度の主要課題

- イソプレン タイ拠点の収益化
- 活性炭 米国新設備、光学用ポバールフィルム生産設備、水溶性ポバールフィルム ポーランド新工場の早期安定稼働
- コア事業への重点的な資源配分と縮小・撤退事業の見極め
- 〈エバール®〉アジアでの新プラントの建設決定



事業ポートフォリオの
高度化

持続的に成長するスペシャリティ化学企業として
今後も挑戦を続ける

株主還元の方針

2023年度 1株当たり配当金

中間

25円

期 末

25円

(予定)

年 間

50円

(予定)

2022年度 1株当たり配当金

中間

21円

期 末

23円

年 間

44円

「PASSION 2026」期間中 基本方針

株主還元

総還元性向：35%以上

年間配当金：1株当たり40円以上

米国エバール工場火災事故検証

取締役会



事故検証委員会

- ・ 社外役員（独立役員）を中心とする5名で構成



検証団

- ・ 事故検証委員会の下に検証団を設置
- ・ 担当分野の専門知識を持ち社内の事情にも精通した社内メンバーで構成
- ・ 「技術」「ガバナンス」「訴訟対応」の各観点から検証

再発防止策を着実に実行し、
グループ全体の安全管理体制・リスク管理体制の更なる強化を目指す

会計監査人および監査役会の 連結計算書類等監査結果の件

招集ご通知（ウェブサイトに掲載）48～53ページ

決議事項（議案）の説明

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役11名選任の件

第3号議案 監査役1名選任の件

招集ご通知（ウェブサイトに掲載）7～17ページ

質疑応答

質疑応答

(事前質問へのご回答)

質疑応答

ご質問をどうぞ

- ◆ご発言の際は挙手をお願いします。
- ◆議長が指名しましたら係の者がマイクスタンドへご案内します。
- ◆ご発言の際は、出席票の番号のみをお願いします。
- ◆ご質問は1回につき1問でお願いします。

質疑応答

ご質問をどうぞ

- ◆ご発言の後は、お席へお戻りください。
- ◆一度目の方のご発言をお受けした後に、時間に余裕があれば二度目のご発言をお受けします。

採
決

第1号議案

剰余金処分の件

採
決

第2号議案

取締役11名選任の件

採
決

第3号議案

監査役 1名選任の件

kuraray

Possible starts here

本日はありがとうございました。